

夏の背割堤を楽しむ

カヌー体験や生き物観察など



カヌー体験をする親子

淀川三川合流域の豊かな自然に触れるイベント「背割堤 夏の休日2020」が8月1日～30日の期間、淀川河川公園背割堤地区およびさくらであい館で開催され、親子連れなど多くの来場者でにぎわいました。

このイベントは、来場者に夏の思い出作りや自然に親しみきっかけにしておうと、淀川河川公園が毎年主催。例年、2日間で開催のところが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、1カ月間の期間イベントとし、体験プログラムは各週末に分散するなどの対策を講じました。

会場では、背割堤の桜の小枝を使ったクラフト作りや木津川でのカヌー体験、川遊びを通じた生き物観察などを実施。来場者は自然豊かな背割堤の魅力を満喫していました。

さくらであい館 桜のぬりえも展示

また、広報やわた4月号で募集した背割堤の桜のぬりえ約70点も同館に展示。来場者たちは足を止めて、色とりどりの桜のぬりえに入っていました。



展示された背割堤桜のぬりえ

私の作品 オンリーワン

子どもハンドメイド教室

8月20日、「子どもハンドメイド教室」が橋本公民館で行われ、小学3～5年生10人が、壁に掛けて小物などを収納できる「ウォールポケット」を作りました。

この教室は、子どもたちに世界に一つだけのハンドメイド作品を作ってもらおうと、同館が企画しました。

子どもたちは、ハンドメイドサークルで活動する講師の山本正子さんに教わりながら、家の形をしたウォールポケット作りに挑戦。

用意されたボードに、布をはさみで切るなどしながら、接着剤で貼り付けていく子どもたち。仕上げに、革の生地をドアや窓の形に自由に切り取って貼り、自分だけのハンドメイド作品を完成させていました。

山口莉桜ちゃん(8)は「窓にカーテンを貼るのが難しかったけど、頑張って作りました。家に帰ったら、自分の部屋に飾りたいです」と話していました。



ウォールポケットに窓を貼る女の子

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

飛べ！カラス型紙飛行機

航空界のパイオニア、二宮忠八が作成した「カラス型飛行機」を模した紙飛行機を作る講座が8月18日、山柴公民館で行われ、親子連れなど6組14人が参加しました。

この講座は、紙飛行機作りを楽しんでもらうとともに、ライト兄弟よりも先に飛行原理を発見した忠八について学んでもらおうと、同館が企画。講師に飛行機社の友田享宮司を迎えました。

山柴公民館 親子で作る講座

はじめに、子どもたちは紙飛行機作りに挑戦。カラスの顔などが描かれたパーツをはさみで切り取り、折って組み合わせるなどして完成させると、みんな楽しそうに紙飛行機を飛ばしていました。

その後、忠八が創建した飛行機社を見学。友田宮司から「忠八はカラスが滑空する姿を見て、飛行機開発のヒントを得た」などの話がされ、参加者たちは興味深そうに聞き入っていました。

川角陽くん(10)は「紙飛行機作りは、パーツを切るのが難しかったけど、楽しかった」と話していました。



のむら りえ 野村 理絵さん

今月のこの人 まちの安全を目指して防犯活動

大学1回生の時にボランティア活動を探して「ロックモンキーズ」に参加。以来、防犯教室、啓発活動やパトロールなど、府内でさまざまな防犯活動に取り組んでいます。

野村さんは「活動中にあいさつや反応を返してもらえると、やりがいを感じます」と充実感をにじませます。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で活動機会が減少していますが、メンバーと相談し、手作りの広報紙や防犯啓発動画を作

成、ホームページやSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)で配信しています。

「メンバーが活動に参加しやすいように、作業を分担したり、新規生には積極的に話しかけたりすることを、代表として心がけています」と話します。

将来の夢は警察官。京都のまちの安全を守るため、これからも奮闘していきます。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物を紹介していきます。自薦・他薦問わず、紹介希望者を募集していますので、詳しくは、市ホームページをご覧ください。秘書広報課へお問合せください。



防犯教室の様子

△プロフィール▽
府内の大学生らでつくる防犯ボランティア団体「ロックモンキーズ」(事務局・京都府警察本部生活安全企画課)代表。市内在住の大学2年生。